平成30年度 全日本私立幼稚園連合会
中国地区私立幼稚園教育研修会

鳥取大会

テーマ

「子どもの未来の幸せをねがう教育を」

～開山1300年 大山の麓から～

実施案内

期　　日：平成30年8月22日（水）～23日（木）

メイン会場：米子市文化ホール（開会式・講演）
米子市末広町293　☎（0859）35-4171

●主催／一般財団法人 私学研修福祉会
●協力／全日本私立幼稚園連合会・（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
全日本私立幼稚園連合会中国地区協議会・全日本私立幼稚園PTA連合会中国地区協議会
●実施／鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会

プログラム

1日目　8月22日(水)

会 場

受付～基調講演：米子市文化ホール　米子市末広町293　☎(0859)35-4171

夕べのつどい：ANAクラウンプラザホテル米子

米子市久米町53-2　☎(0859)36-1111

12:00 12:30　13:30 13:45　15:15 15:30　17:00 18:30　20:30

受付	ウエルカム公演 開会式	休憩	記念講演	休憩	基調講演	休憩	夕べのつどい

2日目　8月23日(木)

会 場

各分科会会場へ

分科会	集合場所	集合時刻	解散時刻	備考
第1分科会	米子市文化ホール イベントホール	8:50	12:00	9:00開始。現地解散。
第2分科会	米子コンベンションセンター前	8:20	12:30	8:30バスで出発。 バスで集合場所に戻り解散。
第3分科会	米子コンベンションセンター前	8:05	12:30	8:15バスで出発。 バスで集合場所に戻り解散。
第4分科会	米子コンベンションセンター前	8:20	12:30	8:30バスで出発。 バスで集合場所に戻り解散。
第5分科会	JR米子駅切符売り場前	8:15	12:30	8:42米子駅発境港駅行きの JRに乗車。 バスで米子駅に戻り解散。
第6分科会	米子市文化ホール展示室	8:50	12:00	9:00開始。現地解散。
第7分科会	米子コンベンションセンター 第7会議室	8:50	12:00	9:00開始。現地解散。
第8分科会	ANAクラウンプラザホテル米子	8:50	12:00	9:00開始。会場未定。 現地解散。
第9分科会	米子コンベンションセンター前	8:50	12:00	9:00バスで出発。 バスで集合場所に戻り解散。
第10分科会	米子コンベンションセンター前	8:50	12:00	9:00バスで出発。 バスで集合場所に戻り解散。

記念講演

「演劇が育む一人で立つ力、支え合う力」

研修俯瞰図番号(B6)

◎講師　演出家／鳥の劇場芸術監督
中島(なかしま)　諒人(まこと) 先生

◎出演　鳥の劇場

プロフィール

中島諒人 先生

1990年東京大学法学部卒業。大学在学中より演劇活動を開始、卒業後東京を拠点に劇団を主宰。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取で廃校を劇場に変え、「鳥の劇場」をスタート。二千年以上の歴史を持つ文化装置=演劇の本来の力を社会に示し、演劇／劇場の深い価値が広く認識されることを目指す。芸術的価値の追究と普及活動を両輪に、地域振興や教育分野にも関わる。

利賀演出家コンクール2003最優秀演出家賞(2003)/鳥取市文化賞(2008)/芸術選奨文部科学大臣新人賞(2009)/鳥取県文化功労賞(2015)

鳥取大学非常勤講師／日本BeSeTo委員会代表／鳥取県教育委員／公益財団法人舞台芸術財団演劇人会議理事

鳥の劇場

2006年に演出家・中島諒人氏を中心に設立。鳥取県の山間地域鳥取市鹿野町で、廃校になった幼稚園・小学校を劇場施設へ手作りリノベーション。収容数200人の“劇場”と80人の“スタジオ”をもつ。劇団の運営する劇場として、現代劇の創作と上演を中心に、国内・海外の優れた舞台作品の招聘、舞台芸術家との交流、他芸術ジャンルとの交流、教育普及活動などを行っている。また2008年から、地域や行政との協働による演劇祭「鳥の演劇祭」を毎年9月に開催。国際交流も広く進めており、アジア、ヨーロッパ、アメリカなど世界各国のアーチストが活動。2010年、13年、16年には日中韓三国の演劇祭「BeSeTo演劇祭」も開催。舞台芸術家のための創作の拠点として、全国、海外に開かれた場となることを目指している。

利賀フェスティバル、ふじのくに⇄せかい演劇祭、シビウ国際演劇祭などの演劇祭にも招聘。県外や海外でも活動を行う。代表作は『老貴婦人の訪問』、『天使バビロンに来たる』(デュレンマット)、「剣を鍛える話」(魯迅)、「誤解」(カミュ)、「熊野」・「葵上」(三島由紀夫)、「白雪姫」(グリム)など。

2011年度国際交流基金地球市民賞受賞。

基調講演

「幼児教育の今後」

研修俯瞰図番号(C3)

◎講師　白梅学園大学大学院特任教授
子ども学研究所長
無藤（むとう）　隆（たかし） 先生

プロフィール

東京大学教育学部卒業、聖心女子大学、お茶の水女子大学を経て、現職。

専門は、発達心理学・教育心理学・幼児教育・小学校教育など。

社会的活動として、日本発達心理学会・元会長、日本質的心理学会・元会長、文部科学省中央教育審議会委員、内閣府子ども・子育て会議会長、保育教諭養成課程研究会理事長、国立教育政策研究所上席フェローなど。

主な著書に、「幼児教育のデザイン」(東京大学出版会)、「認定こども園の時代」(共著、ひかりのくに)、「はじめての幼保連携型認定こども園教育・保育要領ガイドブック」(フレーベル館)、「保育のこつ50」(フレーベル館)など。

ウェルカムコンサート

大山僧兵太鼓

大山寺は、平安時代に天台宗となりました。幕府から土地を与えられ守っていましたが、その後寺院も兵力をもっていなければ寺院としての勢力を固持できないような状況となり、大勢の僧侶と、三千人の僧兵をもち、強大な道場として栄えていました。

後に天台宗総本山比叡山延暦寺の僧侶となる武蔵坊弁慶は、修行をしていた鰐淵寺（がくえんじ）(現出雲市別所町)から大山寺に使いに行った時、弁慶の怪力を聞いた大山寺の住職から「大山寺の釣鐘を持って帰ることができたら差し上げよう。」と言われて、一晩で鰐淵寺まで担いで持って帰ったという逸話が伝えられています。

戦国時代には山名・尼子・毛利勢もおびやかす勢いがあったと伝えられています。

大山寺を支えてきた僧兵たちの偉業は数多くあり、これを後世に残す形として、古くから大山寺に伝わっていた太鼓(古文書の記述及び天台宗に伝わる出頭太鼓があることから、大山寺にも太鼓があったことが判明)を昔を偲んで復元しよう、という声が高まりました。

昭和51年に山梨県甲府市の和太鼓の権威、天野氏(無形文化財保持者)の作曲・指導を受け現在の大山僧兵太鼓が誕生しました。

今年は大山開山1300年です。それを盛大に祝う演奏をします。お楽しみください。

夕べのつどい

♪ 淀江さんこ節保存会

淀江さんこ節の起源は諸説ありますが、淀江は古くから港町として栄え、北前船で寄港した船乗り衆が歌う各地の民謡と、淀江古来の民謡が融合して誕生したと言われています。幕末から明治にかけて、港町淀江の酒席で大流行した郷土民謡で、三味線・太鼓などに合わせて賑やかに歌われ、七七七五調の歌詞は今もなお、古い調べを残しています。やがて、軽快な曲のテンポに合わせて、左官さんが土壁を塗りあげる情景を滑稽に演じる仕種踊り「壁塗りさんこ」が踊られるようになり、酒席だけでなく、棟上げや結婚などの祝宴でも披露されるようになりました。その後、和傘の産地としても知られる淀江では「傘踊り」「銭太鼓」も取り入れられてきました。

今回は、夕べのつどいのオープニングとして、まず、傘踊りと銭太鼓のコラボレーションを、そして、参加者の皆様と一体感を生み、滑稽でお座敷芸らしい情緒を楽しめると言われている「壁塗りさんこ」をご覧いただきます。

♪ TOTTRIX（トットリクス）

フュージョンバンドの「TRIX」や「T- SQUARE」のコピーを中心に2011年に4人のメンバーで結成しました。フュージョン(Fusion、Jazz Fusion)というのは、1960年代後半から現在に至るまでのジャズを基調にロックやラテン音楽、R&B、電子音楽などを融合(フューズ)させた音楽のジャンルで、一般的には、ジャズジャンルから確立されたものの一種に位置づけされています。今年で8年目を迎える山陰で活躍中のインストゥメンタル(ボーカルが入っていない楽器のみの楽曲)バンドです。

《経歴》米子市民音楽祭、小野市ジャズオーケストラ「シャイニーハーツ」ゲスト演奏、サックス奏者「伊勢賢治さん」とコラボ演奏等他ライブ活動

《メンバー》
ギター：浅野克彦
ベース：居川直人
ドラム：遠藤　潤
キーボード：森脇正恵

よろしくお願いします。

2日目　8月23日(木)

第1分科会　ワークショップ 鳥の劇場
～プロ俳優に学ぶ表現～

研修俯瞰図番号(E5)

ねらい

多様な表現の方法を学び、身体表現の奥深さを味わう。物語にひたり、生き物や植物などになりきることを通じて、子どもが「表現の主人公」として輝くための保育の在り方を模索する。

会 場　米子市文化ホール イベントホール

日 程
9:00 体を動かしながら感じてみる
10:15 休憩
10:30 簡単なお芝居を創ってみる(グループ)
11:45 振り返り
12:00 終了・解散

講 師　鳥の劇場 中島 諒人 様

定 員　50名

備 考　準備物は動きやすい服装、靴、飲み物、タオル等。

第2分科会　ワークショップ 植田正治写真美術館
～フォトスクール～

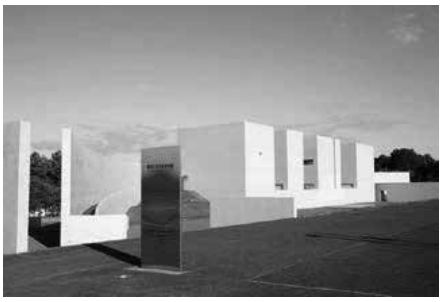
研修俯瞰図番号(D2)

ねらい

世界的写真家として知られる植田正治氏の写真を展示している美術館で、作品鑑賞、写真講座を通して植田氏の作品のすばらしさを知り、また、実際に撮影し写真の楽しさを体験する。

会 場　植田正治写真美術館

日 程
8:30 米子コンベンション前出発
9:00 フォトスクール
11:30 自由見学
11:50 写真美術館 出発
12:30 米子コンベンション前到着・解散



講 師　地元写真愛好家、写真美術館職員

定 員　30名

備 考　各自で暑さ対策をお願いします。(タオル、水筒〈水分補給〉、帽子など)
カメラは、植田正治写真美術館で用意してくださいます。

第3分科会 ワークショップ 大山寺周辺

～大山開山1300年 座禅体験と周辺散策～

研修俯瞰図番号(B3)

ねらい

雄大な大山の歴史と自然にふれて心と体をリフレッシュするとともに、自分たちの住む地域にも素敵な自然や歴史があることを再認識する。自分たちの住んでいる地域のよさを愛し、大切にする子どもを育てていこうとする気概を養う。

会 場 重要文化財 阿弥陀堂・大山寺とその周辺

日 程
- 8:15 米子コンベンション前出発
- 9:00 下山キャンプ場着
- 9:20 阿弥陀堂で座禅体験
- 10:30 阿弥陀堂出発・散策開始
  利生水～石室～大山寺本堂～金門
  ～大神山神社～大山寺宝物館霊宝閣
- 11:50 大山寺博労座駐車場出発
- 12:30 米子コンベンション前到着・解散

講 師
- 全体案内　大山町教育長　鷲見 寛幸 様
- 座　禅　大山寺圓流院住職　大館 宏雄 様

定 員 40名

備 考 準備物は軽装、帽子、スニーカー。少雨決行。
状況により座禅体験の後、大山自然歴史館での解説に変更することがあります。

第4分科会 ワークショップ とっとり花回廊

～季節の花の寄せ植え体験と夏の花の散策～

研修俯瞰図番号(E4)

ねらい

日本最大級のフラワーパークで季節の花の寄せ植え体験と幼稚園の花壇の手入れについて学び、園内の夏の花々や植物に触れて保育に生かす感性を養う。

会 場 とっとり花回廊

日 程
- 8:30 米子コンベンション前出発
- 9:00 花回廊着・季節の花の寄せ植え体験
- 9:40 花壇管理についてレクチャー
- 10:30 花回廊園内散策
- 11:50 花回廊 出発
- 12:30 米子コンベンション前到着・解散

講 師 とっとり花回廊副園長兼園芸部長　林原 康子 様

定 員 55名

備 考 準備物は軽装、帽子、水筒(水分補給)。

お願い **入園料が無料になりますので,「2018私学共済ブック【保健・宿泊編】」についている「厚生施設利用補助券」を必ずご持参ください。**

第5分科会 ワークショップ 鬼太郎列車&水木しげるロード
～妖怪の世界を体験～

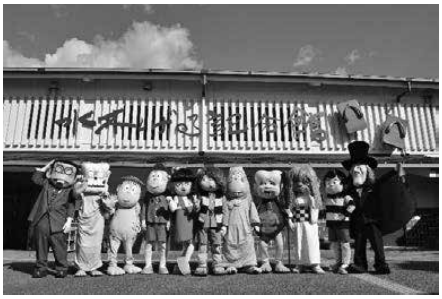
研修俯瞰図番号(E4)

ねらい

米子駅(ねずみ男駅)～境港駅(鬼太郎駅)まで鬼太郎列車に乗って妖怪ワールドへ一直線。現地では妖怪ガイドブックを使ってスタンプラリーに挑戦。
また、「地獄極楽絵図」がある巨嶽山「正福寺」にて住職の法話を聞き、水木しげる氏の創作した独創かつ多様な作品の世界を実際に体験し、自分自身の想像力を無限に広げ、楽しい世界を味わう。多様な表現の方法を学び、身体表現の奥深さを味わう。物語にひたり、生き物や植物などになりきることを通じて、子どもが「表現の主人公」として輝くための保育の在り方を模索する。

会 場 水木しげるロード・正福寺

日 程
8:15 米子駅切符売り場前集合・JRで出発
9:24 境港駅到着・水木しげるロード散策
10:40 バス駐車場集合・バス移動
11:00 正福寺着・住職の法話・地獄絵図の見学
12:00 正福寺 バスで出発
12:30 米子駅前着・解散


©水木プロ

講 師 曹洞宗 巨嶽山　正福寺住職　永井 光明 様

定 員 55名

備 考 準備物は帽子、水分を補給できるもの、状況によって雨具。雨天決行です。

第6分科会 ワークショップ リトミックであそぼう
～森脇 正恵先生とともに～

研修俯瞰図番号(E5)

ねらい

音楽に合わせて身体を動かし学べる研修を通して、明日からの保育に使えるスキルを身につける。
音楽を使って、身体的、感覚的、知的に優れた子ども達の育成に役立てようとする気概をもつ。

会 場 米子市文化ホール　展示室

日 程
9:00 日程とリトミック概要説明
9:15 実践Ⅰ
10:30 休憩(水分補給)
10:40 実践Ⅱ
12:00 解散

講 師 ピコットミュージックスクール　森脇 正恵 様

定 員 80名

備 考 準備物は動きやすい服装、靴、飲み物、タオル等。

第7分科会　小枝達也先生と学ぶ特別支援教育

～発達障がいの幼児をどのように受け入れるか?
その後の成長を見てきた者からのメッセージ～

研修俯瞰図番号(D3)

ねらい

多発達障がいだと思われる幼児を、園の保育活動の中でどのように受け入れて、その子なりの育ちを見守ったらよいか考える。子どものもつ可能性、家族の力の大きさを感じることの大切さを学ぶ。

会 場　米子コンベンションセンター　7会議室

日 程
9:00 講演
10:30 休憩
10:40 質疑応答
12:00 終了・解散

講 師　国立成育医療研究センター
こころの診療部　　部長　小枝 達也 様

定 員　70名

備 考　参加者から事前に質問を受け付け、その質問を事前に先生にお届けし、
その質問(抜粋又は代表例)について、お話しいただく形で進めます。

参加希望者は、各自が抱える保育における困り感を、
A.支援を必要とする子どもの保育に関する困り感(特別支援)
B.保護者とのコミュニケーションに関する困り感(保護者支援)
などの視点で、事例報告としてA4 1枚に質問をまとめ、以下のアドレスへ7月20日までにメールでご提出ください。
事例報告は、①子どもの姿　②保育者の対応　③保護者への対応　④困り感について　⑤その他の5項目にまとめ、題名を「第7分科会質問(園名、氏名)」としてください。

宛　　先：ryozen@orange.ocn.ne.jp　　メールタイトル：第7分科会質問(園名、氏名)
締め切り：7月20日(金)

第8分科会　設置者・園長・ネクストリーダー部会

～働きやすい環境づくり 雇用管理～

研修俯瞰図番号(B4)

ねらい

最近は少子化もあり全国的に保育士不足である。その厳しい環境の中で「いかに職員の確保をするのか いかに職員の離職防止を行うのか」が緊急の課題となっている。職員の不満を解消するだけでなく、満足して働ける環境づくりが必要であり、限られた予算の中で、職員をいかに満足させて園の雰囲気を良くするのか、労務的なアプローチから方法を模索する。

会 場　ANAクラウンプラザホテル米子　飛鳥東の間

日 程
9:00 講演
12:00 終了・解散

講 師　社会保険労務士法人 ゆびすい労務センター
特定社員・東京支店長 特定社会保険労務士　平 幸次 様

定 員　100名

第9分科会　公開保育　かもめ幼稚園

意欲・自己調整力・創造力の育成をめざして
～砂場での遊びを通して～

研修俯瞰図番号(B2)

ねらい

砂場遊びを体験しながら、子どもの姿をどのような視点で捉え、砂場という環境を生かして如何に援助していくかを考える。

会 場　かもめ幼稚園

日 程
9:00 米子コンベンション前出発
9:30 かもめ幼稚園着・園舎内自由見学・活動見学
10:00 ワークショップ 砂場(裸足で活動)
11:00 振り返り
11:30 かもめ幼稚園 出発
12:00 米子コンベンション前到着・解散

講 師　同志社大学 現代社会学部
現代子ども学科　教授　笠間 浩幸 様

定 員　60名

備 考　準備物は帽子、動きやすい服装、タオル。

第10分科会　公開保育 認定こども園 かいけ心正こども園

環境構成を入口にする活動をめざして
～造形活動を通して～

研修俯瞰図番号(B2)

ねらい

子どもが主体的に遊びに関わることが出来る環境構成について、参加者と共に意見交換をすることで、取り組みや改善の方向を明らかにしていく。

会 場　認定こども園 かいけ心正こども園

日 程
9:00 米子コンベンション前出発
9:30 かいけ心正こども園着・園の概要説明
9:45 公開保育
10:40 公開保育内容説明・大橋先生総評・質疑応答
11:20 かいけ心正こども園 出発
12:00 米子コンベンション前到着・解散

講 師　岡山大学大学院・教育学研究科　教授　大橋 功 様

定 員　60名

備 考　準備物は上履き、汚れてもよい服装(絵の具を使用する活動があるため)。

参加概要

参加希望人数

県	岡山県	広島県	山口県	島根県	鳥取県	合計
人数	120	120	80	30	200	550

参加費

○ 研修会　　7,000円
○ 夕べのつどい　8,000円

参加申込方法

鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会のHP【http://www.torisiyou.jp/】に日本旅行より「中国地区私立幼稚園教育研修会　鳥取大会　参加・宿泊等受付」のバナーが貼られます。日本旅行のシステムに入って、申込みをしていただくことになります。申込みについては、以下の点をご留意ください。なお、インターネットを使っての申込みが困難な場合は、下に示した問い合わせ先までFaxでお知らせください。申込用紙をお送りします。

- バナーが貼られるのは、7月2日(月)午前10時から、7月20日(金)午後5時までです。その間に申し込んでください。
- 各分科会には参加上限人数があり、各ホテルは用意した部屋数が決まっています。どちらについても、先着順に受付をいたします。すでにいっぱいになってしまった分科会やホテルは「受付不能」となり、空いたところを選んでいただくことになりますので、ご諒解ください。
- 今回の申込みには、皆さんの「ふりがな」や「生年月日(必ず西暦で)」を記入する欄が設定されています。受講スタンプの発行が厳格になり、個人の詳しいデータが必要になったためです。今回いただいた情報は、今大会についてのみ使用し、他の目的で使用することはありません。
- 参加費等の支払い方法、領収証の発行、参加券(研修会・夕べのつどい)等の発行については、日本旅行のシステムに説明があります。
- 鳥取大会では、免許状更新講習(必修12時間)の同時開催はありません。

運営に関するお問い合わせ

本大会の実行委員会事務局長までお願いします。以下の通りです。

〒683-0853　鳥取県米子市両三柳2755
米子幼稚園　園長　辻田 賢次
Tel.0859-24-3500　Fax.0859-24-3505
e-mail.　mail@yonago-k.ed.jp

会場周辺地図

本研修会に係る経費の一部は、
日本私立学校振興・共済事業団からの「助成金」に
よってまかなわれております。

表紙写真　星空／大山
©カヤノユウイチ